

# 桜ずもう実行特別委員会事業計画(案)

桜ずもう実行特別委員会 委員長 山城 竜ノ介

1 青少年の健全育成、第53代横綱琴櫻関の顕彰を目的とする桜ずもうは、2019年で  
2 第41回を迎えます。地域の子ども達、この町の方々に支えられて40年間続けてこれら  
3 たこの大会を、45回大会、50回大会へと繋げて開催していくことが今年度桜ずもう実  
4 行特別委員会の使命であり、他団体や青少年ボランティア等地域を大きく巻き込み新しい  
5 切り口で事業を運営、展開する必要があります。

6 まず、これからの未来を担う子ども達に、他人を思いやる心、感謝する心、礼儀を学ぶ  
7 場として第41回櫻杯争奪相撲選手権大会を開催し、心豊かに成長していく事を目指しま  
8 す。そして、桜ずもうを継続開催していく為に、倉吉青年会議所のメンバー一人ひとりが  
9 大会準備、運営に深く携わり次代へと繋げていける体制を構築します。また他団体やボラ  
10 ンティアの役割を早い段階から明確化し、桜ずもうに関わる機会を増やすことで大会を運  
11 営するメンバーの一員という自覚が芽生え、達成感を感じて頂くことができます。さらに  
12 琴櫻関の顕彰としてその功績を称えるため第41回櫻杯争奪相撲選手権大会にて献花を行  
13 うとともに、その偉大な功績を直に感じられるパネル展示等を行う事で努力をすれば必ず  
14 自分の目標に近づける事をより多くの方々に感じて頂きます。また、青少年育成として、  
15 倉吉の地で子ども達が自らの手で経営し、お金を動かすことでこの小さな地域にも魅力あ  
16 る多くの経済圏が存在することや、お金の大切さを学んでいただき、郷土愛を育むととも  
17 に将来この地域の経済を活性化させる人財へと成長できる事業を行います。

18 この地域の青少年が、事業を通して相手を思いやる心や礼儀、努力し挑戦する事を学び、  
19 新たなことに勇気をもって挑戦できる人間に成長するきっかけを提供することが桜ずもう  
20 実行特別委員会の目的であります。多くの方々と共に事業を行うことで絆が生まれ、その  
21 絆が時代を乗り越える力となり、夢や希望溢れる明るい未来創生へと繋がっていきます。

22

## 23 <事業計画>

- 24 1. 桜ずもうの運営に関する事項
- 25 2. わんぱく相撲全国大会に関する事項
- 26 3. この地域の発展若しくは、青少年の育成に関する事業の実施
- 27 4. 会員拡大に関する事項